令和７年度 県内大学等の研究成果活用に向けた可能性検討補助金

# 提案書

　みだしのことについて、次のとおり提案いたします。

令和　　年　　月　　日

　沖縄県知事　　殿

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 提案者 | 所在地 | |  | | | |
| 法人名 | |  | | | |
| 代表者職氏名 | |  | | | 印 |
|  | | | | | | |
| 連絡担当者※ | 所属・職 | |  | | | |
| 氏名 | |  | | | |
| 電話番号/FAX番号 | |  | | | |
| E-mail | |  | | | |
| ※代表法人の担当者を記載すること | | | | | | |
| プロジェクトテーマ名 | |  | | | | |
|  | | | | | | |
| 共同企業体構成員 | 法人名 | | | 代表者名 | 所在地 | |
|  | | |  |  | |
|  | | | | | | |
| 提出先 | 〒903-0129  沖縄県中頭郡西原町字千原１番地　琉球大学産学官連携棟３階  株式会社沖縄ＴＬＯ | | | | | |

# プロジェクト概要書

「プロジェクト概要書」は1枚でまとめてください。（青字は削除してください）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．プロジェクトテーマ名 |  | | |
| ２．事業費  (補助対象経費) | ○,○○○,○○○円(税抜) | うち補助対象経費 | ○,○○○,○○○円(税抜)  ※総事業費の8/10以内、上限280万円 |
| ３．プロジェクトの背景・課題・目的 | | | |
| ＜記入例＞（青字は削除して記入してください）  背景　（○○は、○○のため、○○が期待されている。）  課題　（しかしながら、○○が課題となっている。／○○が求められている。）  目的　（○○の課題を解決するため、○○や○○等の方法に取り組む。これらの結果を踏まえ、○○を開発・検証する。） | | | |
| ４．ビジネスモデル及びプロジェクトの概要 | | | |
| * 公募要領に記載されている審査基準を参考にして、事業化のビジネスモデルと今回のプロジェクトの概要をわかりやすくアピールしてください。 | | | |
| ５．事業化までのロードマップ及び達成目標 | | | |
| * 本プロジェクトにおいて可能性検討を行う製品・サービス等について、現時点で想定している事業化までのロードマップおよび年度毎の達成目標を記載してください。 * 概要を簡潔に記載し、詳細は様式３「６．事業化までのロードマップ」に記載してください。 | | | |

# プロジェクト詳細

※「プロジェクト詳細」は、図表などを活用し、10ページ程度を上限の目安として、簡潔かつ明瞭に記載してください。

※提案内容の理解を補助する目的で参考資料の添付は可能ですが、添付する場合は必要最小限にとどめてください。

（青字は削除してください）

|  |
| --- |
| １．活用を検討する大学等の研究成果について |
| ※ 活用を検討する大学等の研究成果について、研究者の所属・氏名、及び内容を簡潔に記載してください。  ※ 技術専門用語については、説明を付けてください。  ※ 特許、論文、学会発表、科研費等の報告書、共同研究実績等、研究内容がわかる情報を記載してください。非公開の情報については、必要に応じて資料を添付してください。 |
| ２．事業化における大学の研究成果の役割・優位性 |
| * 研究成果の社会実装における強み、既存技術との差異や優位性について記載してください。   ・既存技術や他社製品との差異・優位性  　例：既存の○○は○○に課題があるが、本研究成果は○○が可能であることから○○の実現が期待される。  ・事業化における中核技術としての役割 　例：本研究成果は○○の開発に不可欠なコア技術であり、プロジェクトの基盤となるものである。  ・模倣困難性（参入障壁）  　例：○○大学の特許（特願20○○-○○○○○号）を活用予定であり、他社による模倣が困難である。 |
| ３．事業の必要性 |
| * 上記を踏まえて、研究成果の事業化に向けた可能性検討の必要性について、市場ニーズや社会的・産業的課題との関連性を踏まえて記載してください。 |
| ４．ビジネスモデルの仮説 |
| * 事業化に向け想定しているビジネスモデルや出口戦略を示してください。 * 事業内容の競争優位性・新規性、革新性等について説明してください。   （例：既存の技術で○○と○○があるが、当該技術は○○という点で差別化を図っており、○○であるため、競争優位性が高い） |
| ５．事業化までのロードマップ |
| ※ 様式２で記載したマイルストーンに対応する事業化に向けた方向性や目標を、図表を用いて記載してください。   * 製品やサービスの事業化にあたり、関係法令への対応が必要な場合は、その対応計画も明記してください。 |
| ６．プロジェクトの実施内容詳細 |
| ※ 実施内容について詳細に説明してください。  ※ 必要に応じてプロジェクトの内容をテーマ毎に細分化するなどし、適宜図表等（様式自由）も添付のうえ、分かりやすく説明してください。  ※ プロジェクトの成果を高めるための具体的な提案を記載してください。  ※ 共同企業体等による申請の場合は、企業等ごとに実施する業務を記載するなど、役割分担を明確にしてください。 |
| ７．実施体制 |
| ※ 事業を確実に遂行するうえで必要な実施体制・人員、管理体制、経理の適正処理及び管理のための体制を、図表等を用いてわかりやすく記載してください。  ※ 外注、委託を予定している場合、その内容も記載してください。  ※ 可能性検討の実施場所も記載してください。  ※ 共同企業体による申請の場合には、構成員ごとに記載してください。  ※ 大学との連携状況（NDA等）については、契約の有無にかかわらず、協力の了承が得られていることが分かるよう記載してください。 （例：秘密保持契約の締結済み／締結に向けた協議中、研究室・担当教員からの口頭了承、今後の連携見通し　等） |
| ８．事業遂行能力 |
| * 提案する事業内容に関連する事業実績、技術的知見 * 法人又は事業統括責任者などの主な略歴、事業実績、研究開発実績、知的財産権等の取得状況等を記載してください。 * 共同企業体等による申請の場合には、構成員ごとに記載してください。 |
| ９．期待される効果、事業終了後の展開 |
| * 本事業の実施によりどのような効果が期待されるか記載してください。 |
| １０．沖縄県経済への波及効果 |
| * 当事業の成果により想定される県内経済等への波及効果（市場開拓、新規雇用創出等）の見通しについて、具体的に（可能な限り定量的に）記載してください。 |
| １１．補助事業費の調達計画 |
| 例）補助事業に要する経費のうち○○○千円については自己資金、○○○千円については金融機関からの借入（融資枠○○円残あり）   * 補助事業に要する経費の具体的な調達方法と目途を記述して下さい。また、資金調達の確実性を証明出来る書類があれば添付して下さい。（出資または融資決定通知等） |

# 事業計画（プロジェクト実施スケジュール）

（青字は削除して記入してください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| サブテーマ名及び主担当者 | 作業課題 | 令和７年度 | | | | | | | | |
| 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| サブテーマ①  ●●の試作開発  主担当者：○○○○  （株式会社●●●●） | (1)●●の試作設計・材料選定  (2)●●の試作製造・評価試験 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| サブテーマ②  ●●の実証試験  主担当者：○○○○ | １)○○○のシミュレーション  ２）○○○のスモールスケールでの実証試験 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| サブテーマ③  マーケティング・事業化検討  主担当者：○○○○ | １）市場調査・顧客ニーズ分析  ２）マーケティング戦略の立案  ３）事業モデルおよび収支計画の策定 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※必要に応じて、枠は適宜調整してください。

※補助事業期間は2月27日（金）までです。